



小林峯夫の世界

—「まひる野」と岐阜県歌壇に残した足跡—



岐阜県立郡上高等学校和良分校勤務時代の小林峯夫・教え子らと共に

郡上和良で生まれ育った小林峯夫は

昭和・平成の岐阜県歌壇を代表する歌人の一人である

小林の代表作で当時の歌壇に鮮烈な印象を与えた

連作「宝暦挽歌」は江戸時代の「郡上一揆」をモチーフとしている

その足跡を、作品や関係歌人らが集うフォーラムから探る

会期 2022年9月23日(金)～2023年3月31日(金)

※ 期間中、3/21をのぞく火曜日休館、12/29～1/3・3/22 休館

※ 9～11月＝9:00～17:00、12月・1～3月＝10:00～16:00(入館は30分前までに)

会場 古今伝授の里フィールドミュージアム 和歌文学館

入館料 大人320円、小中学生110円、未就学児無料

第10回古今伝授の里・現代短歌フォーラム「小林峯夫の世界—「宝暦挽歌」から遺歌集『途上』まで—

日時：2022年9月24日(土) 13:30～15:30

フォーラム参加無料・要申込

会場：古今伝授の里フィールドミュージアム 短歌の里交流館よぶこどり

講師：島田修三氏(歌人、「まひる野」) 小池秀男氏(愛知淑徳大学) 後藤すみ子氏(岐阜県歌人クラブ副会長兼事務局長)

広坂早苗氏(歌人、「まひる野」)

司会：小塩卓哉氏(歌人、「新岐阜県歌壇史」執筆者) ※順不同

定員：先着50名(会場内の密集を回避するため人数を制限しますので必ず裏面のとおりにお申し込みください)

主催・お問い合わせ＝古今伝授の里フィールドミュージアム 後援＝岐阜県歌人クラブ、岐阜新聞社・岐阜放送、ながらみ書房

〒501-4608 岐阜県郡上市大和町牧912番地1 (火曜定休・火曜が祝日の場合は翌平日、12/28～1/3)

TEL 0575-88-3244 FAX 0575-88-4692 メール kokin@city.gujo.lg.jp(メールには表題をご記入ください)

※新型コロナウイルス感染防止対策として開催形態を変更したり中止したりすることがあります。その場合は速やかにホームページでお知らせします。

また、ご来館にあたっては、裏面の新型コロナウイルス感染防止対策にご協力ください。





小林峯夫の世界 —「まひる野」と岐阜県歌壇に残した足跡—

昭和 7 年に岐阜県郡上郡和良村（現・郡上市和良町）の商家に生まれた小林峯夫は、作家の道を志し早稲田大学文学部へ進学。卒業後は、病に倒れた父に代わって家業の酒屋を営むため郷里へ戻る。昭和 30 年に岐阜県立郡上高等学校和良分校で講師として教壇に立ってから定年まで岐阜県で教職にあった。

昭和 21 年に窪田章一郎ら早稲田大学の学生らが中心になって創刊された短歌雑誌「まひる野」には、大学卒業直後の昭和 30 年に入会。現在「まひる野」代表を務める篠弘は、文学部の同級生であり、以後、長く同誌で交流を深め、切磋琢磨をした。

また、岐阜県歌人クラブ副会長として会の運営に関わった。歌集は『はばき』ほか全 4 冊。今秋には遺歌集として 5 番目の歌集『途上』の刊行が予定されている。第 4 歌集『五六川』は、平成 26 年に中日短歌大賞を受賞している。

* * *

今回の企画展は、令和 3 年春に逝去された小林峯夫氏の短歌関係資料の一括寄贈を受け、開催するものである。同氏の資料

を大別すると、「まひる野」を中心する短歌関係資料を核とし、古典、民俗・郷土史関係、教育関係の書籍に分けられる。この特徴は、同氏の初期の代表作「宝暦挽歌」の一連が、「郡上一揆」と呼ばれる江戸時代の村方騒動「宝暦騒動」をモチーフとしていることとも関係があるろう。多数の資料から、遺歌集の題名の由来となった日記も含めて、歌人・小林峯夫の足跡を辿る資料を展示する。

また、オープニング並びに遺歌集『途上』発刊を記念して、10 回目となる古今伝授の里・現代短歌フォーラムを開催する。歌人としての足跡を、「まひる野」運営委員の島田修三氏、広坂早苗氏、「岐阜県歌人クラブ」副会長の後藤すみ子氏が明らかにする他、岐阜県の高専国語科教員として交流の深かった小池秀男氏が小林峯夫の教師像について振り返る。全体コーディネートは、「新岐阜県歌壇史」（岐阜新聞掲載）執筆者である小塩卓哉氏が務める。（フォーラムは参加無料・定員有・下記のとおり要申込）

第 10 回 古今伝授の里・現代短歌フォーラム

「小林峯夫の世界—「宝暦挽歌」から遺歌集『途上』まで—」

- 日 時 2022 年 9 月 24 日(土) 13:30~15:30
- 会 場 古今伝授の里フィールドミュージアム 短歌の里交流館よぶこどり
- 講 師 島田修三氏、小池秀男氏、後藤すみ子氏、広坂早苗氏、小塩卓哉氏
- 定 員 先着 50 名程度(会場内の密集を回避するため人数を制限します)
- 申込方法 下記の「新型コロナウイルス感染防止対策へのご協力のお願い」をご確認のうえ、①お名前、②郵便番号、③ご住所、④連絡先電話番号(できれば携帯電話番号)、⑤参加人数をお知らせください。複数で参加される場合は、全員分の①~④を、古今伝授の里フィールドミュージアムまで電話・FAX・メール・ハガキのいずれかで申し込んでください。

フォーラム参加無料

和歌文学館で 9/23 から開催する企画展「小林峯夫の世界」をご観覧のうえでフォーラムに参加していただくと理解が深まります。
* 和歌文学館は入館料要 (大人 320 円)

会 期：2022 年 9 月 23 日(金)~2023 年 3 月 31 日(金)
会 場：古今伝授の里フィールドミュージアム 和歌文学館
開館時間：10 月~11 月=9:00~17:00 12 月~翌 3 月=10:00~16:00
休 館 日：火曜日(ただし期間中 3/21 は開館、3/22 は振替休館)、年末年始 12/29~1/3 休館
入 館 料：大人 320 円 小・中学生 110 円 ※20 名以上団体は 50 円引き
主 催：古今伝授の里フィールドミュージアム
後 援：岐阜県歌人クラブ、岐阜新聞社・岐阜放送、ながらみ書房 アクセス：

〔 車 〕 東海北陸自動車道「ぎふ大和」IC より約 7 分
〔 バス 〕 高速バス「郡上八幡インター」バス停よりタクシー約 20 分
〔 電車 〕 JR 美濃太田駅一長良川鉄道「徳永」駅よりタクシー約 5 分
そ の 他：

- ① 古今伝授の里フィールドミュージアム内のレストラン「ももちどり」を 10 名以上でご利用の場合、「城下町プラザ」や「郡上八幡インター」バス停からの無料送迎があります。詳しくはレストラン「ももちどり」(TEL: 0575-88-4693)にお尋ねください。
- ② 長良川鉄道の「古今キップ」は、和歌文学館入館料・レストラン「ももちどり」でのお食事・最寄り駅「徳永」駅から古今伝授の里フィールドミュージアムまでの無料送迎がセットになっています。詳しくは長良川鉄道 (TEL: 0575-23-3921) にお尋ねください。

〔新型コロナウイルス感染防止対策へのご協力のお願い〕

- ・入館に際しては、マスク着用、手指消毒にご協力ください。
- ・和歌文学館内では、他の方との距離をとってご観覧ください。また、マスク着用時でも会話はなるべく控えてください。
- ・フォーラムの参加、ご来館にあたっては、感染リスクが高いといわれる行動を控えたうえでお願いします。
- ・発熱、咳などの風邪症状のある方は来館をお控えください。
- ・当日参加者の方、同じ時間帯に入館された方の中から、新型コロナウイルス感染者が確認された場合は、お名前等を岐阜県等へ提供します。また、保健所の調査に必ずご協力ください。
- ・感染防止対策の観点から、やむなく内容を変更したり中止したりすることがあります。その場合は、ホームページ等でお知らせします。
- ・その他、その時に最善と思われる感染防止対策にご協力ください。

お問い合わせ：

古今伝授の里フィールドミュージアム



〒501-4608 岐阜県郡上市大和町牧 912 番地 1
TEL 0575-88-3244 FAX 0575-88-4692
メール kokin@city.gujo.lg.jp
www.kokindenju.com